

2024年3月期第3四半期 決算説明会

2024年1月29日

Infrastructure

Agriculture

Healthcare

株式会社トプコン
代表取締役社長 CEO 江藤 隆志

2024年3月期第3四半期 決算説明会

1. 2024年3月期第3四半期 決算報告
2. 2024年3月期 通期見通し
3. 中期経営計画2025達成に向けたシナリオ
4. 参考資料

2024年3月期 第3四半期決算ハイライト



■ Q3累計実績

売上横ばい・減益

売上高 **1,569**億円
前年同期比 0%

営業利益 **65**億円
前年同期比 ▲53%

ポジショニング事業

前年同期比

売上高 
営業利益 

売上高が計画値を下回り、
販管費増を吸収できず減益

アイケア事業

前年同期比

売上高  (過去最高)
営業利益  (過去最高)

スクリーニング・基盤事業とも好調持続。
売上高・営業利益過去最高

■ 通期見通し

売上・営業利益計画維持

売上高 **2,150**億円
前期比 0%

営業利益 **130**億円
前期比 ▲33%

ポジショニング中心に構造改革を前倒し

ポジショニング事業

厳しい事業環境の継続を見込み、
構造改革を前倒し実施

前期比
売上高 
営業利益 

アイケア事業

売上高は過去最高を見込む。
販売組織改革に着手

売上高 
営業利益 

当期純利益を下方修正

配当予想は維持

当期純利益 **30**億円
(10/27公表値 45億円)

- ・ 今後の事業成長を見据えた構造改革費用の追加計上により、当期純利益を下方修正
- ・ 持続成長の確信から、従来配当予想維持

1. 2024年3月期第3四半期 決算報告

- 決算報告
- 事業別の状況

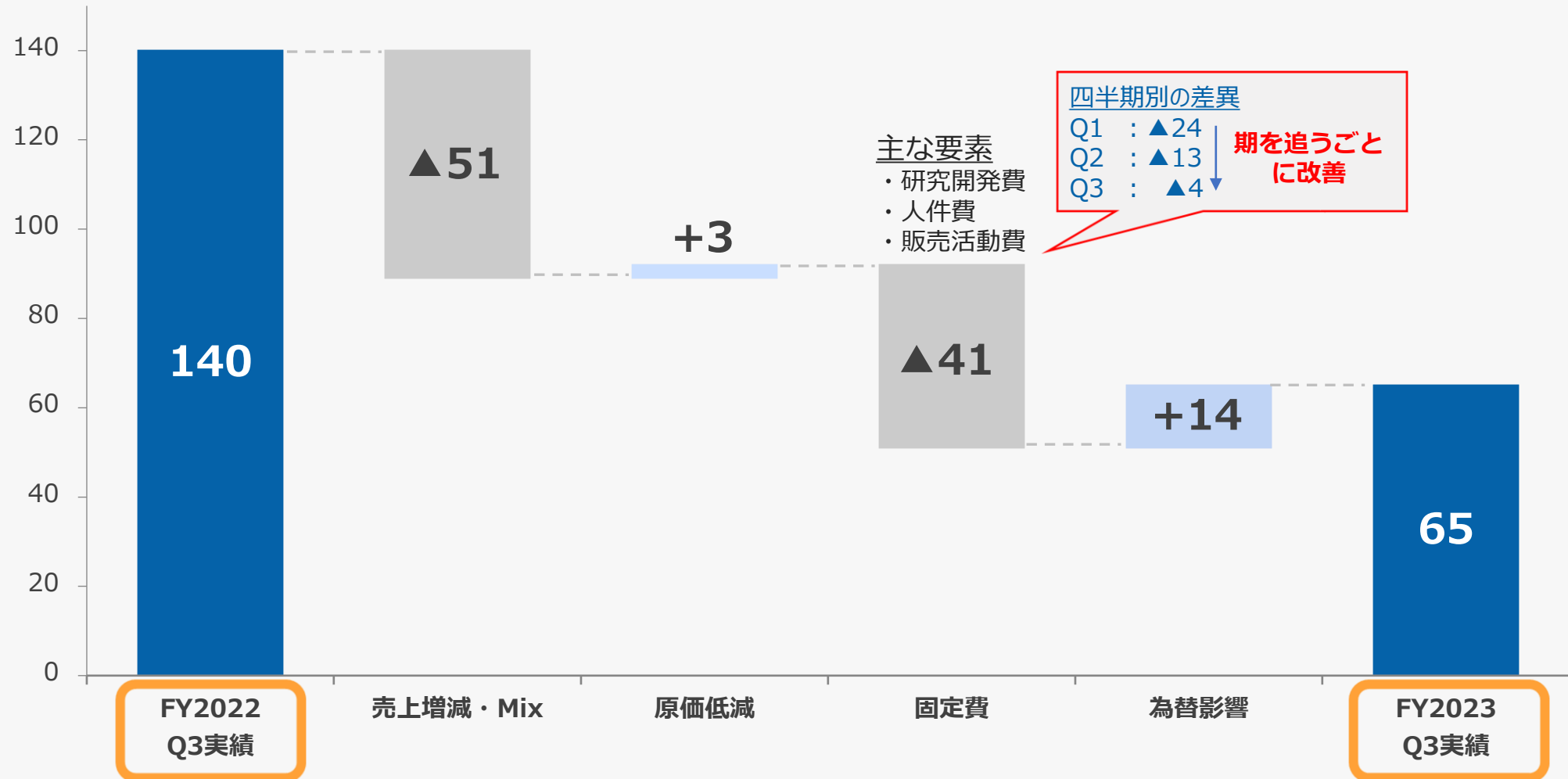
FY2023 Q3実績

(単位：億円)	FY2022 Q3累計実績	FY2023 Q3累計実績	対前年同期	%
売上高	1,568	1,569	+1	+0%
売上総利益	815	832	+18	+2%
売上総利益率	52.0%	53.1%	+1.1pt	
販管費	675	767	+92	+14%
営業利益	140	65	▲75	▲53%
営業利益率	8.9%	4.1%	▲4.8pt	
経常利益	126	46	▲80	▲63%
特別損益	▲5	▲33	▲29	▲624%
四半期純利益	79	4	▲75	▲96%
為替換算レート (期中平均)	USD 135.40円	142.76円	+7.36円	
	EUR 140.42円	155.19円	+14.77円	

訴訟関連費用
▲33億円を含む

FY2023 Q3累計増減益分析【営業利益ベース:前年同期比】

(単位：億円)



1. 2024年3月期第3四半期 決算報告

- 決算報告
- 事業別の状況

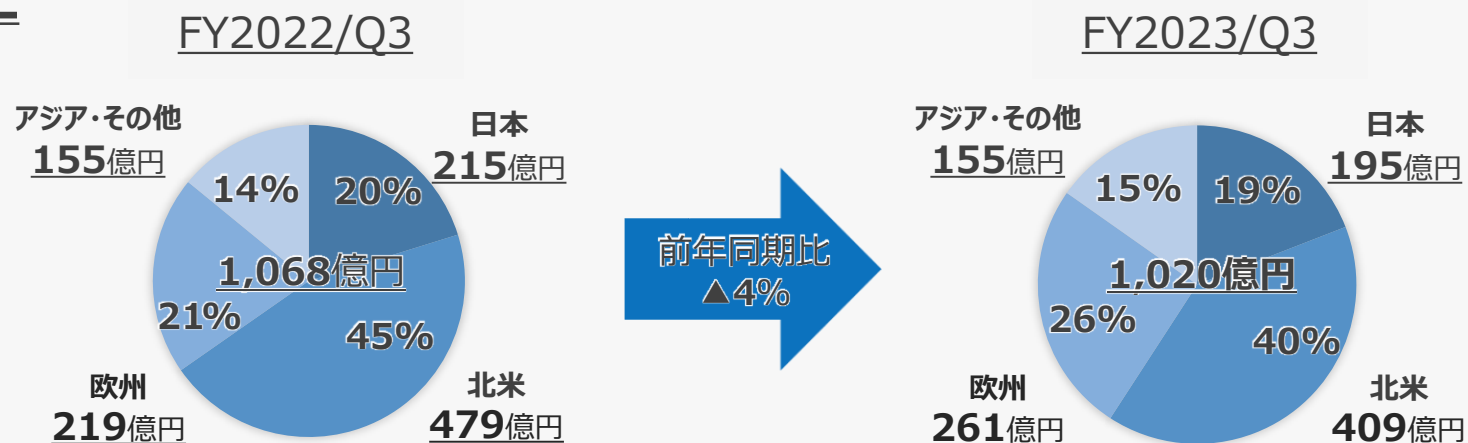
事業別の状況【ポジショニング事業】

■売上高が計画値を下回り、販管費増を吸収できず減益

✓ 売上高・利益

(単位：億円)		FY2022 Q3累計実績	FY2023 Q3累計実績	対前年同期	%
ポジショニング事業	売上高	1,068	1,020	▲48	▲4%
	営業利益	143	59	▲84	▲59%
	営業利益率	13.4%	5.8%	▲7.6pt	
為替換算レート (期中平均)	USD	135.40円	142.76円	+7.36円	
	EUR	140.42円	155.19円	+14.77円	

✓ 地域別売上



事業別の状況【ポジショニング事業】

■ 業績要因分析

全般

- ✓ 米住宅建設市場が低迷、景気不透明感に伴う買い控え長期化で販売伸び悩み
- ✓ 前年度特需（大型案件）の反動減
- ✓ 販管費削減に注力継続

ICT施工・IT農業

- ✓ ICT施工：OEMは前年特需の反動減を除き堅調、アフターマーケットは買い控え長期化
- ✓ IT農業：OEMは堅調も、アフターマーケットは穀物価格下落、金利高止まりの影響で販売減少
- ✓ 国内は自動化普及進展によりICT施工、IT農業共に需要は堅調

測量機・レーザー機器

- ✓ 米住宅建設市場の低迷と景気不透明感に伴う買い控え
- ✓ 国内堅調、アジアは回復傾向継続

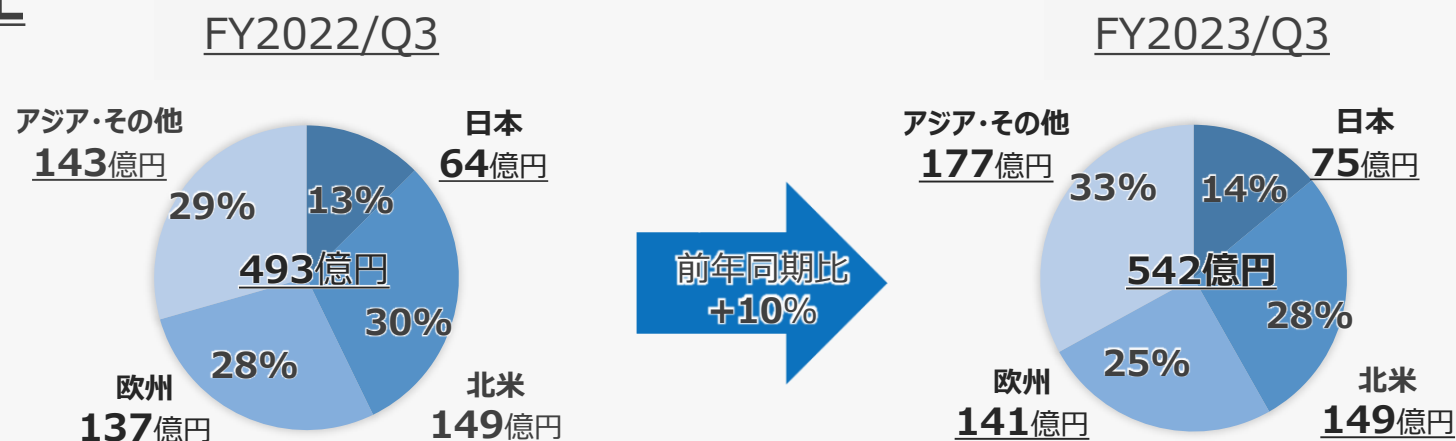
事業別の状況【アイケア事業】

■スクリーニング・基盤事業とも好調持続。売上高・営業利益過去最高

✓ 売上高・利益

(単位：億円)		FY2022 Q3累計実績	FY2023 Q3累計実績	対前年同期	%
アイケア事業	売上高	493	542	+49	+10%
	営業利益	33	42	+9	+26%
	営業利益率	6.8%	7.7%	1.0pt	
為替換算レート (期中平均)	USD	135.40円	142.76円	+7.36円	
	EUR	140.42円	155.19円	+14.77円	

✓ 地域別売上



事業別の状況【アイケア事業】

■ 業績要因分析

全般

- ✓ 欧米大手眼鏡チェーン店の堅調な設備投資は継続、中小規模眼鏡店は金利高止まりで買い控え傾向
- ✓ 中国は腐敗防止運動による影響は継続も、民間病院向けが伸長し販売増
- ✓ シェアードケア推進の為に成長投資継続も販管費を抑制し増益

スクリーニングビジネス

- ✓ 大手眼鏡チェーン店向けスクリーニング機器の販売が着実に拡大
- ✓ 新眼底カメラNW500はスクリーニング、眼科向け共に好評、計画を上回る販売が継続

検眼・診断機器

- ✓ スクリーニングビジネスの強みを活かし、大手眼鏡チェーン店向け販売拡大継続

2. 2024年3月期 通期見通し

FY2023 通期見通し

■構造改革をQ4に前倒し実施、関連費用の追加計上で当期純利益を下方修正

■配当は従来予想を維持

✓ 通期見通しにおける状況

- ・ 米国金利の高止まりや地政学リスクの高まり等から厳しい事業環境を見込むも、売上高・営業利益計画を維持
- ・ 想定以上の市況低迷に対応すべく、ポジショニング事業を中心に中期経営計画で掲げた構造改革を前倒し実施
- ・ 持続的な事業成長と次年度に向けた構造改革効果の発現に期待し、配当は従来予想を維持

✓ 新公表値

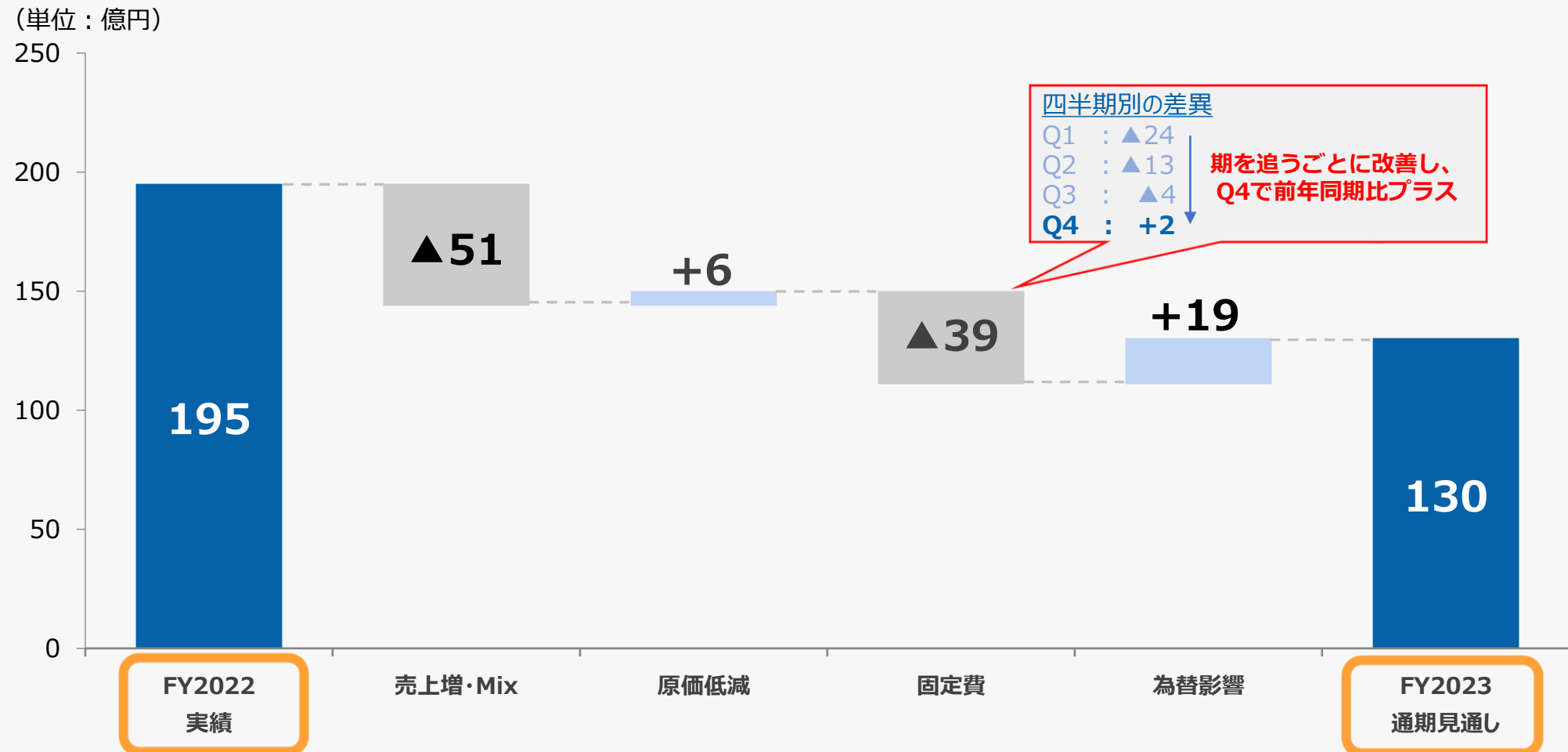
	旧公表値 (10/27)	新公表値 (1/29)	旧公表値比	FY2022 実績
売上高	2,150億円	2,150億円	-	2,156億円
営業利益	130億円	130億円	-	195億円
経常利益	110億円	110億円	-	178億円
当期純利益	45億円	30億円	▲15億円	118億円
配当	42円	42円	-	42円
配当性向	98%	147%	+49pt	37%

Q4前提レート：\$=140円/€=150円

©2024 Topcon Corporation

FY2023 年間見通し増減益分析【営業利益ベース:前年比】

■中期経営計画で掲げた構造改革を前倒しで実施、固定費削減に注力



FY2023 通期見通し【事業別】

(単位：億円)		旧公表値 (10/27)	新公表値 (1/29)	旧公表値比	概況
ポジショニング事業	売上高	1,390	1,380	▲ 10	• 厳しい事業環境が継続 • 販管費削減効果は今期限定的だが来期以降に貢献見込む
	営業利益	125	115	▲ 10	
	営業利益率	9.0%	8.3%		
アイケア事業	売上高	750	760	+ 10	• 好調な販売が継続 • 販管費抑制効果を見込む
	営業利益	50	60	+ 10	
	営業利益率	6.7%	7.9%		

Q 4 前提レート：\$=140円/€=150円

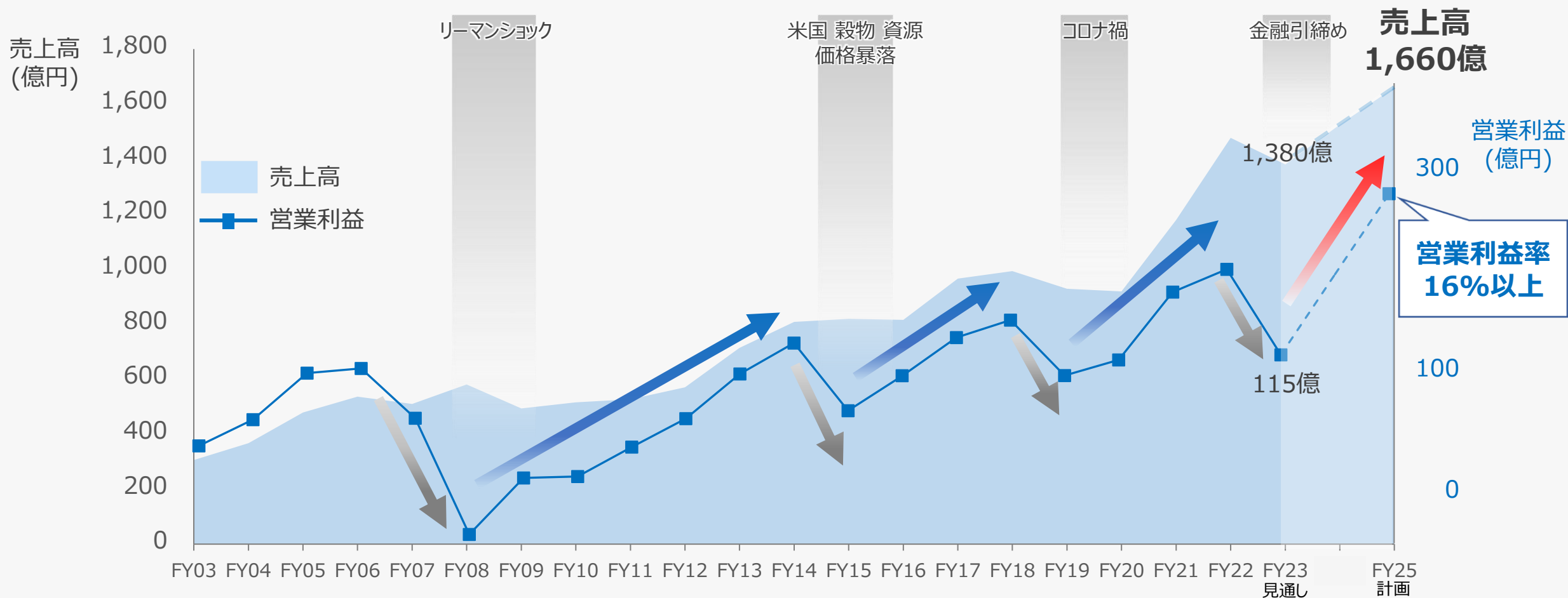
3. 中期経営計画2025達成に向けたシナリオ

- 【ポジショニング事業】 持続成長の軌跡
- 【アイケア事業】 先行投資が開花
- 構造改革
- 中期経営計画2025の見通し

【ポジショニング事業】持続成長の軌跡

■ 景気後退に先行して影響を受けるも、**景気回復局面での力強い業績伸長により、持続的に成長**

■ 今期業績も、米国利上げの影響で一時停滞するが、中計計数目標(FY25)は堅持

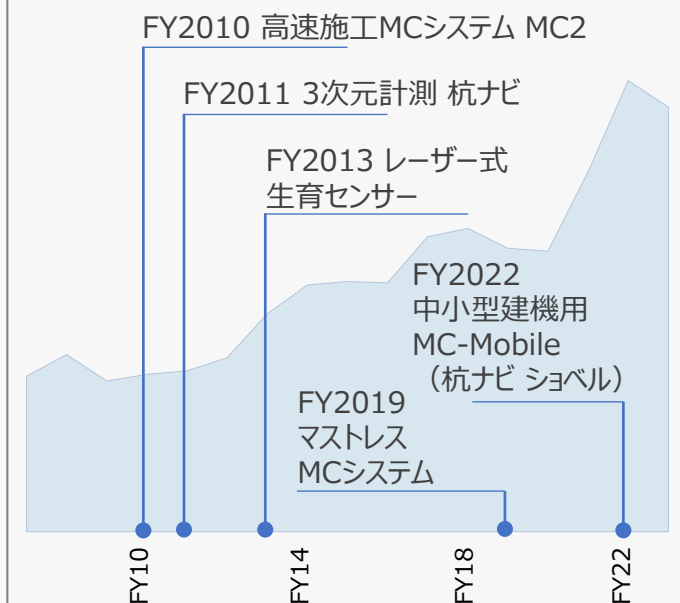


【ポジショニング事業】持続成長の軌跡

- 事業基盤拡大により、成長力を増強
- 製品・販売網・OEMビジネス等の継続強化により、景気循環の波を突破し、長期的な事業成長を実現

唯一無二の戦略製品を 継続的にリリース

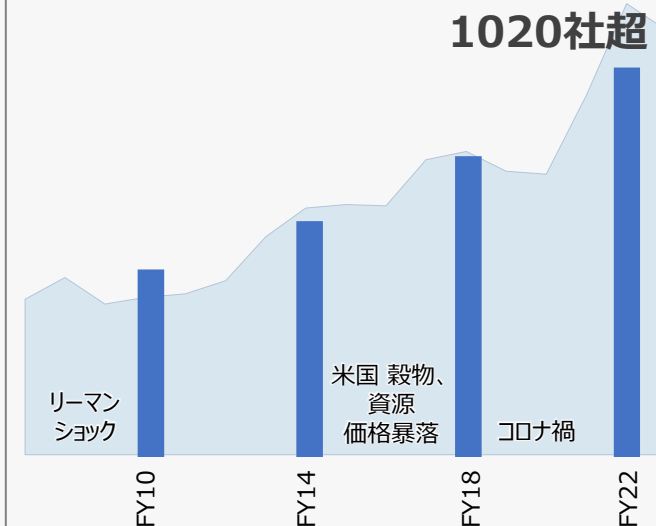
戦略製品の発売時期



事業領域拡大に伴い、 販売チャネルも拡大

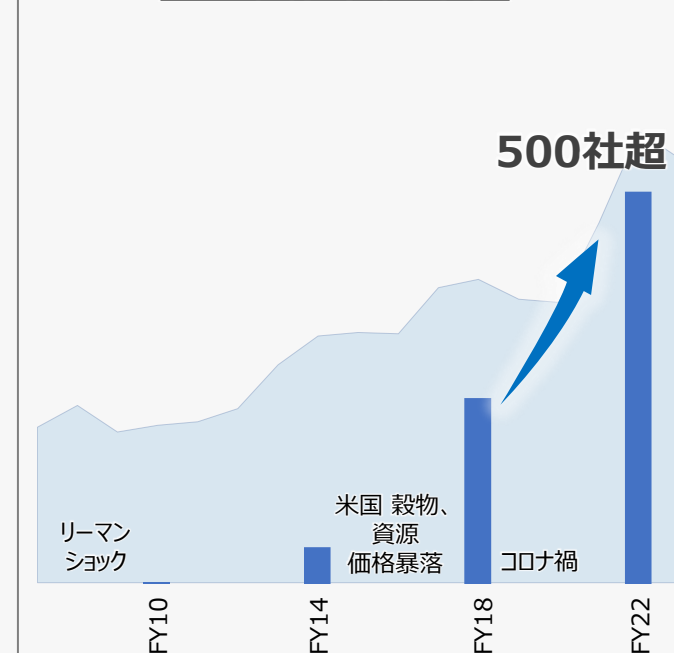
代理店数推移

事業領域の拡大



ベンダー・ニュートラルの 強みが増大

OEM契約社数推移

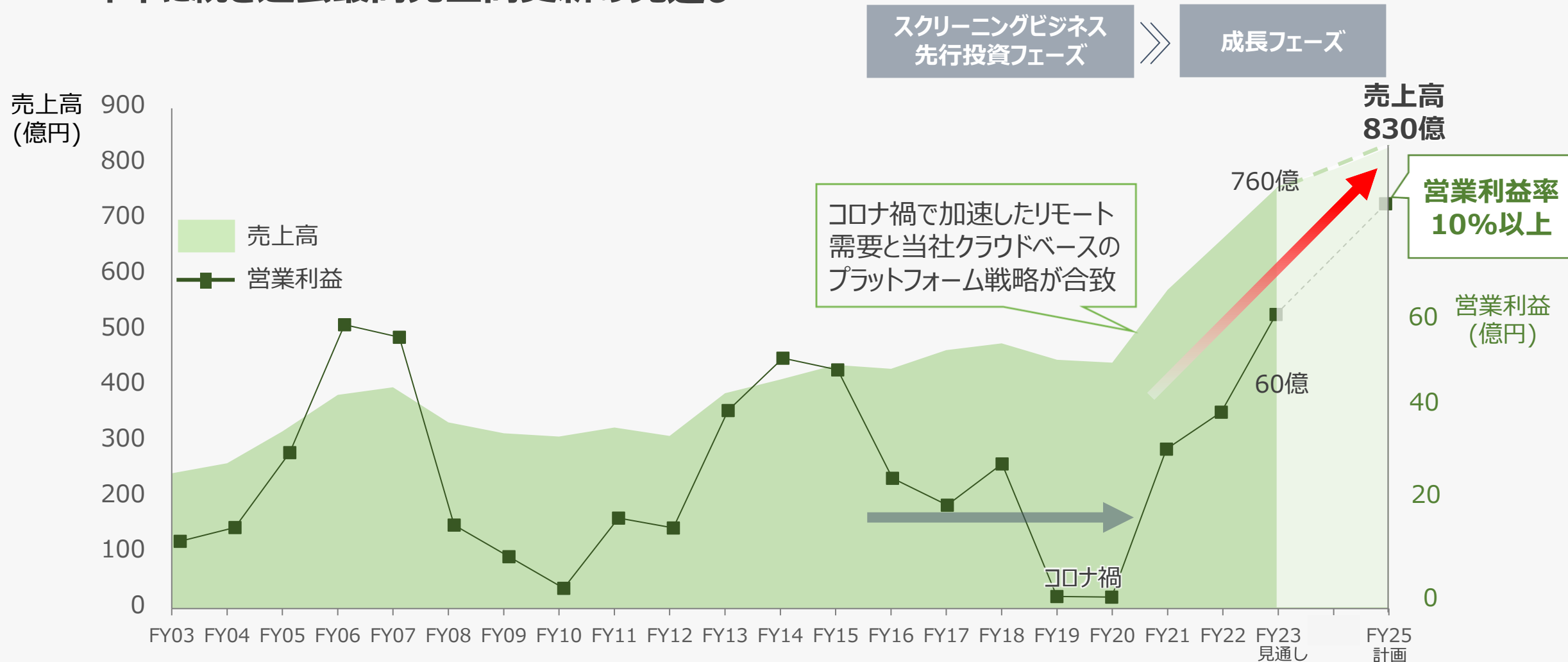


3. 中期経営計画2025達成に向けたシナリオ

- 【ポジショニング事業】 持続成長の軌跡
- 【アイケア事業】 先行投資が開花
- 構造改革
- 中期経営計画2025の見通し

【アイケア事業】 先行投資が開花

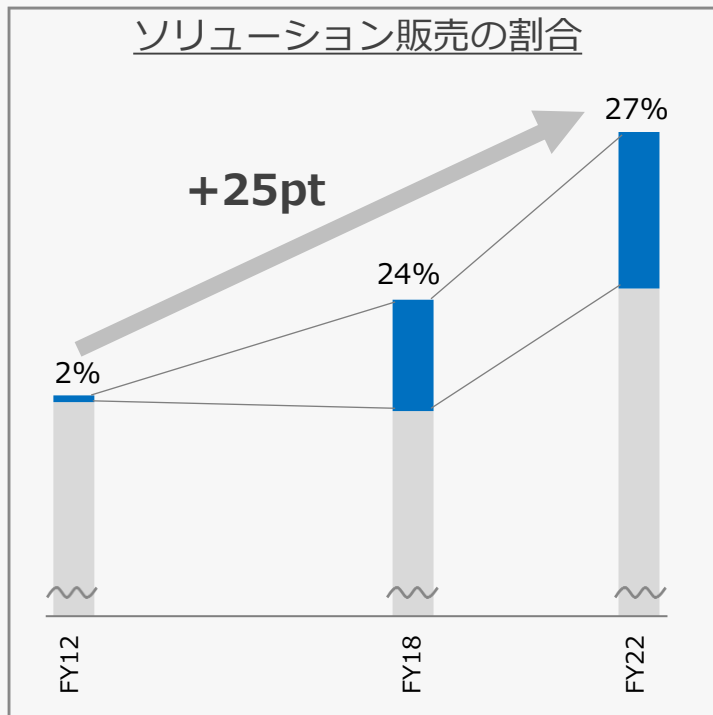
- スクリーニングビジネスへの**先行投資が開花はじめ、成長フェーズに突入**
- 昨年に続き過去最高売上高更新の見通し



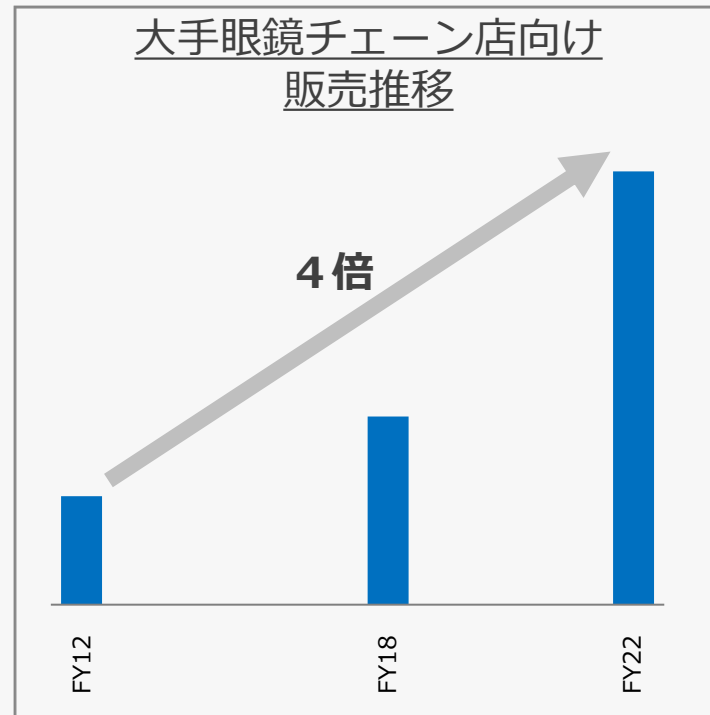
【アイケア事業】先行投資が開花

- 成長シナリオは不変
- ソリューションビジネスの展開を通じて、スクリーニングビジネスの基盤が拡大

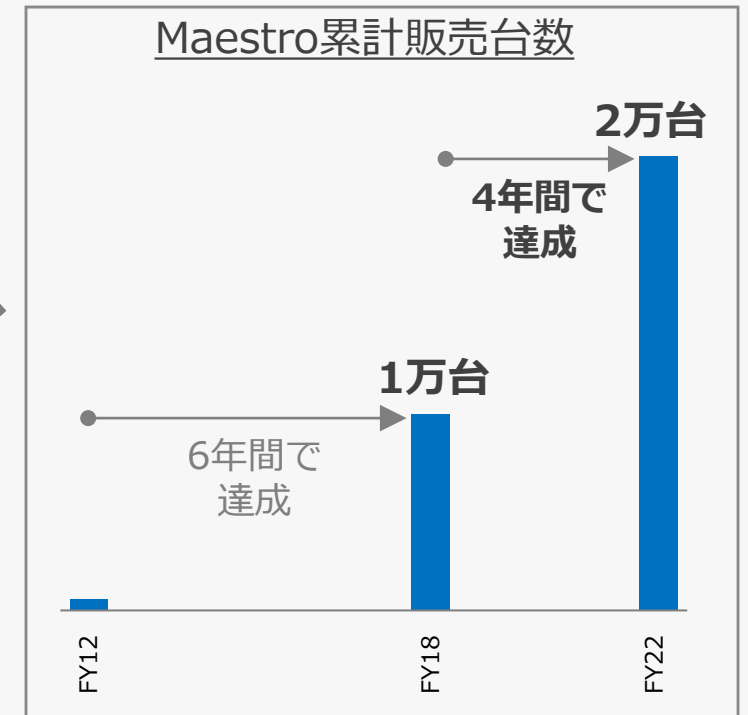
モノ売りから ソリューションビジネスへの変革



大手眼鏡店チェーン向け ソリューションビジネス拡大



スクリーニングビジネスの 基盤となるOCTの普及加速

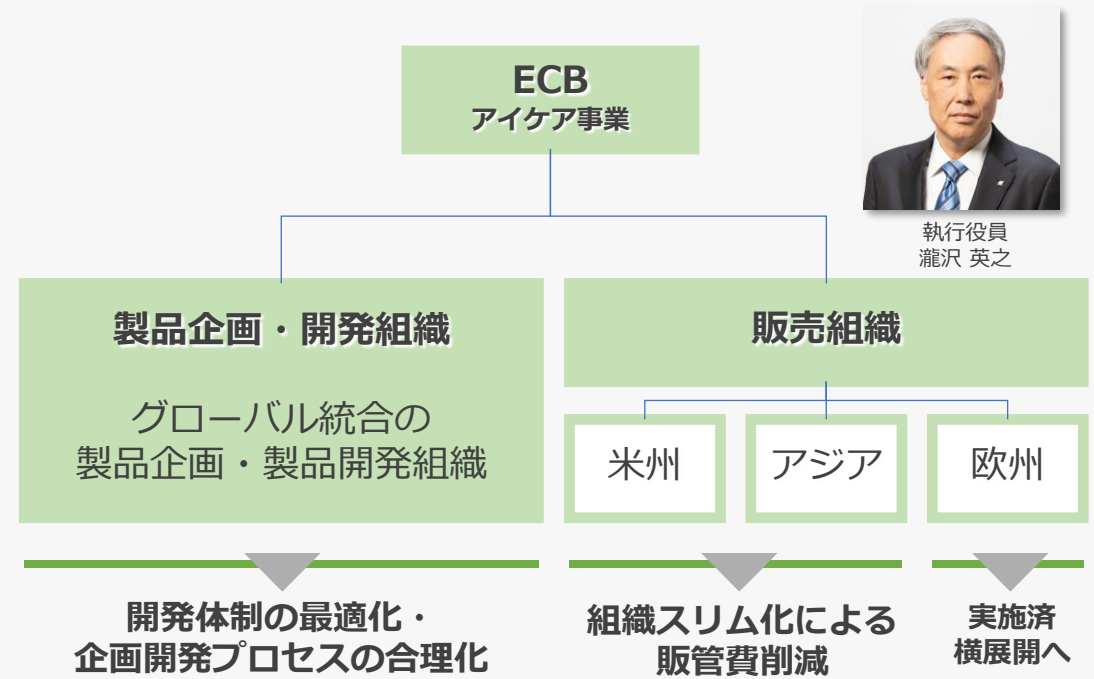
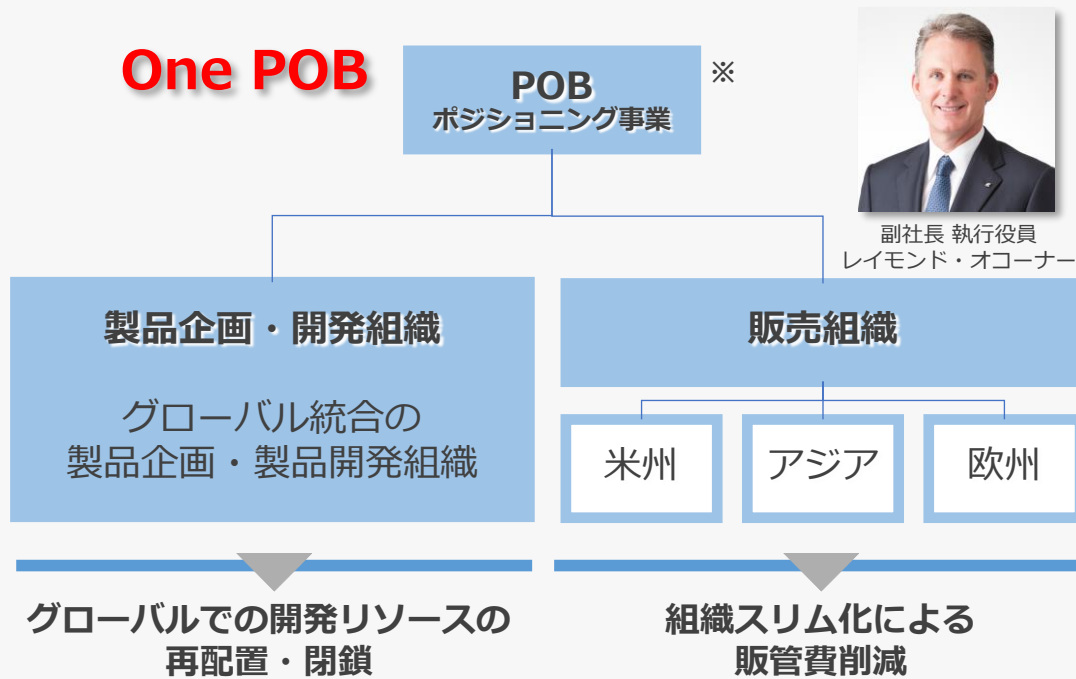


3. 中期経営計画2025達成に向けたシナリオ

- 【ポジショニング事業】 持続成長の軌跡
- 【アイケア事業】 先行投資が開花
- **構造改革**
- 中期経営計画2025の見通し

構造改革：組織改革と固定費圧縮

- ポジショニング事業: **One POB (事業統合)**を推進、持続的成長を維持しつつ、リーンな組織体制を構築
- アイケア事業 : ソリューションビジネスへのモデル転換と**販売組織改革で収益力強化**



※ One POBの責任者としてレイモンド・オコーナーが就任 : ポジショニング事業の創設者の一人で、成長事業(ICT施工、IT農業)をゼロから構築、トプコンの事業拡大の最大の貢献者。2013年にはAEM(米国機械製造者協会)の殿堂入り。

構造改革：組織改革と固定費圧縮

■ FY25売上計画達成と販管費圧縮により、販管費率を7%以上改善

固定費圧縮の主要施策

組織のスリム化

- ✓ ポジショニング事業：人員削減
- ✓ アイケア事業：販社のオペレーション改革/人員削減

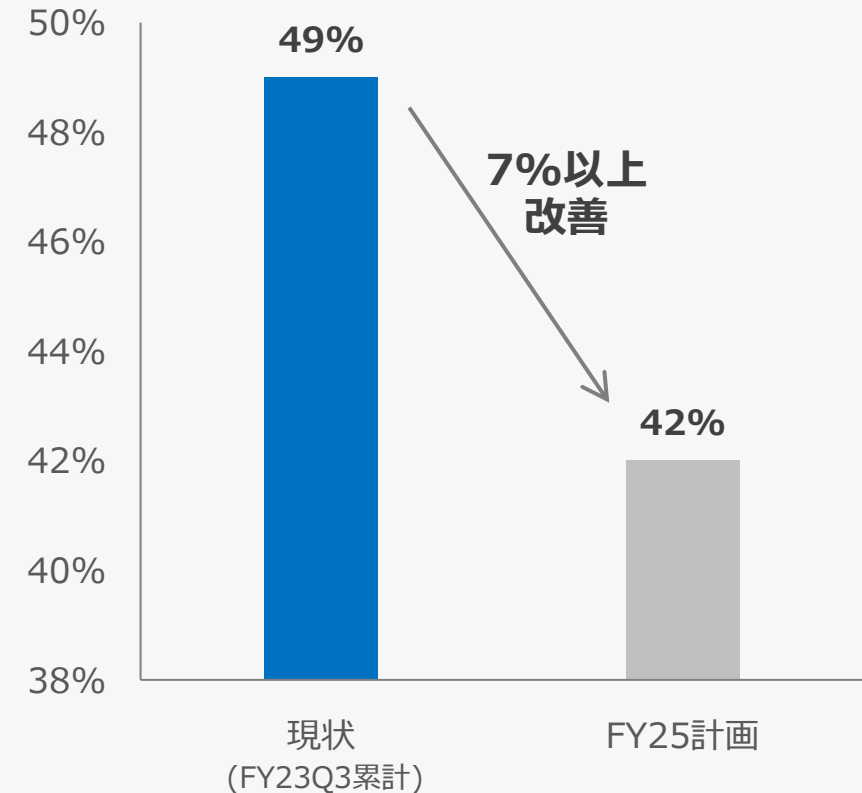
製品企画開発の効率化・スピードアップ

- ✓ ポジショニング事業：グローバルでの技術系組織の再配置と開発プロセスの改革
- ✓ アイケア事業：グローバル開発拠点の連携強化、企画開発プロセス改革と薬事プロセスの合理化
- ✓ ITデジタル活用による開発効率アップ

拠点縮小・事業撤退

- ✓ モスクワ拠点の縮小（人員削減）
- ✓ 一部低採算事業の売却

販管費率の削減



構造改革：生産効率改善

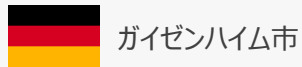
- 「中期経営計画2025」に沿って、主力工場への投資を推進中
- 自動化等により**生産効率を20%改善**させるとともに、生産設備増強と併せ、両工場とも**生産能力としては50%アップ**させて事業拡大に備える



山形市

国内主力工場

第三工場増設



ガイゼンハイム市

建機・農機用
ディスプレイ工場

新工場建設



生産効率の改善

+20%

- ✓ 自動化
- ✓ デジタル化
- ✓ コンカレントエンジニアリング
- ✓ 各生産拠点の機能再配置
(例: 本社工場は製造機能を
試作開発機能にシフト)



生産設備の増強

+20%

生産能力としては**50%アップ**

生産効率の改善

+20%

- ✓ 自動化
- ✓ デジタル化



生産設備の増強

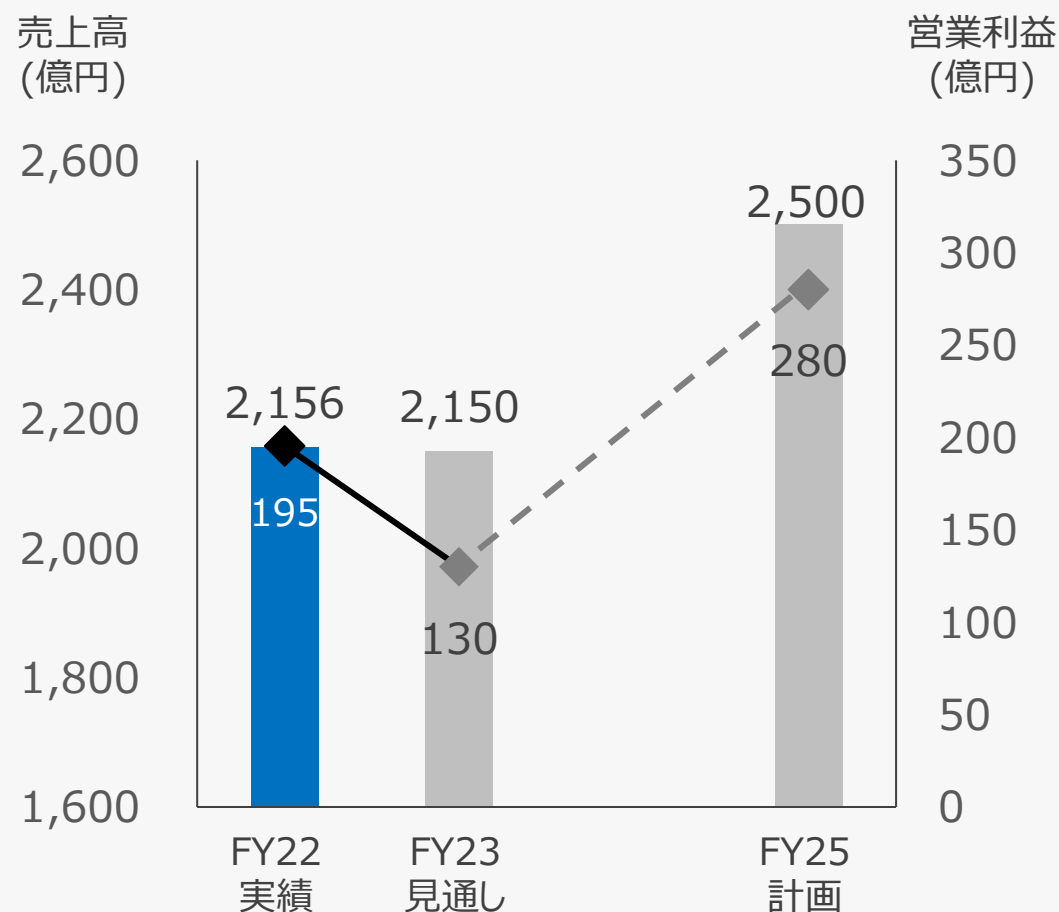
+20%

生産能力としては**50%アップ**

3. 中期経営計画2025達成に向けたシナリオ

- 【ポジショニング事業】 持続成長の軌跡
- 【アイケア事業】 先行投資が開花
- 構造改革
- 中期経営計画2025の見通し

中期経営計画2025の見通し



- **社会的課題**
労働力不足・世界的高齢化・インフラ強靱化・災害復興 需要等は不変
- **ポジショニング事業**
景気循環の影響により今期業績が一時足踏みも、持続的な成長加速を確信
- **アイケア事業**
スクリーニングビジネスへの先行投資が開花し、今期過去最高売上の見通し。成長フェーズへ
- **構造改革**
構造改革によるコスト削減で、当面の景況に対応するとともに、さらなる飛躍への強靱化を図る

「中期経営計画2025」の目標は不変

世界を丸く。

尖ったDXで、

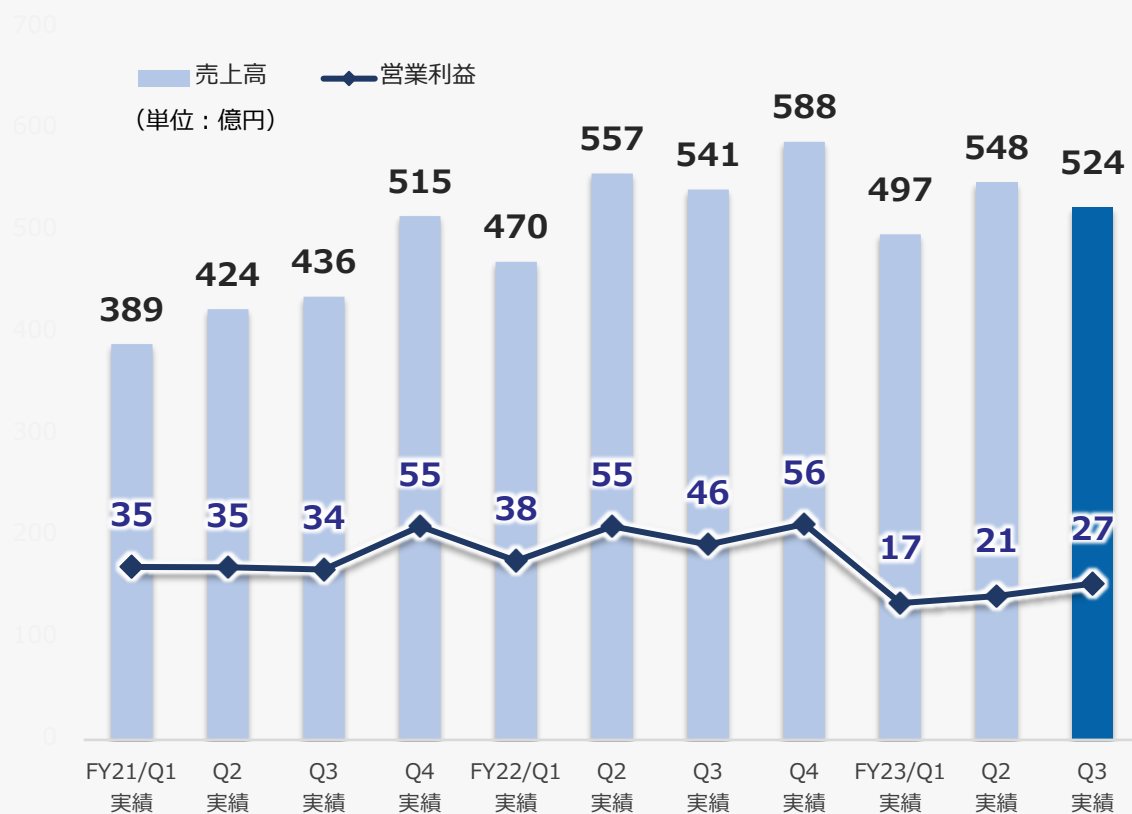


4.参考資料

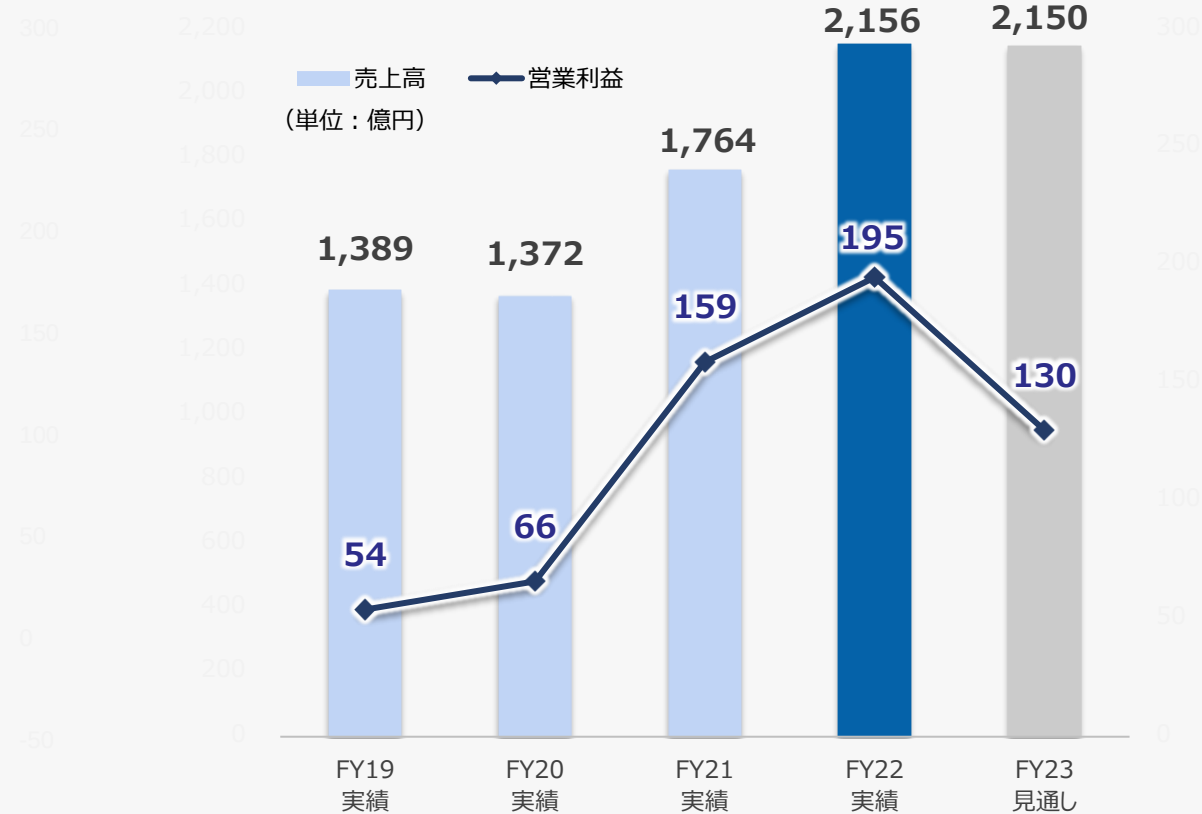
業績推移

■ 全社

四半期別

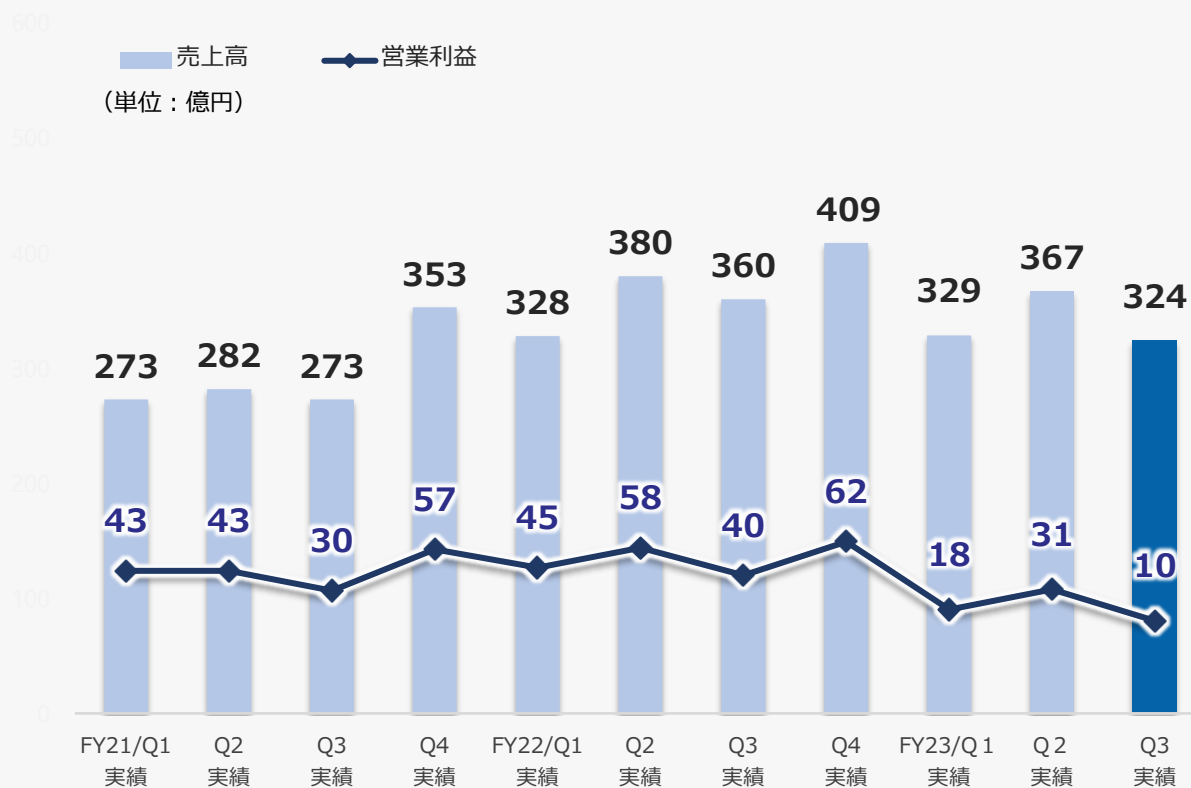


年度別

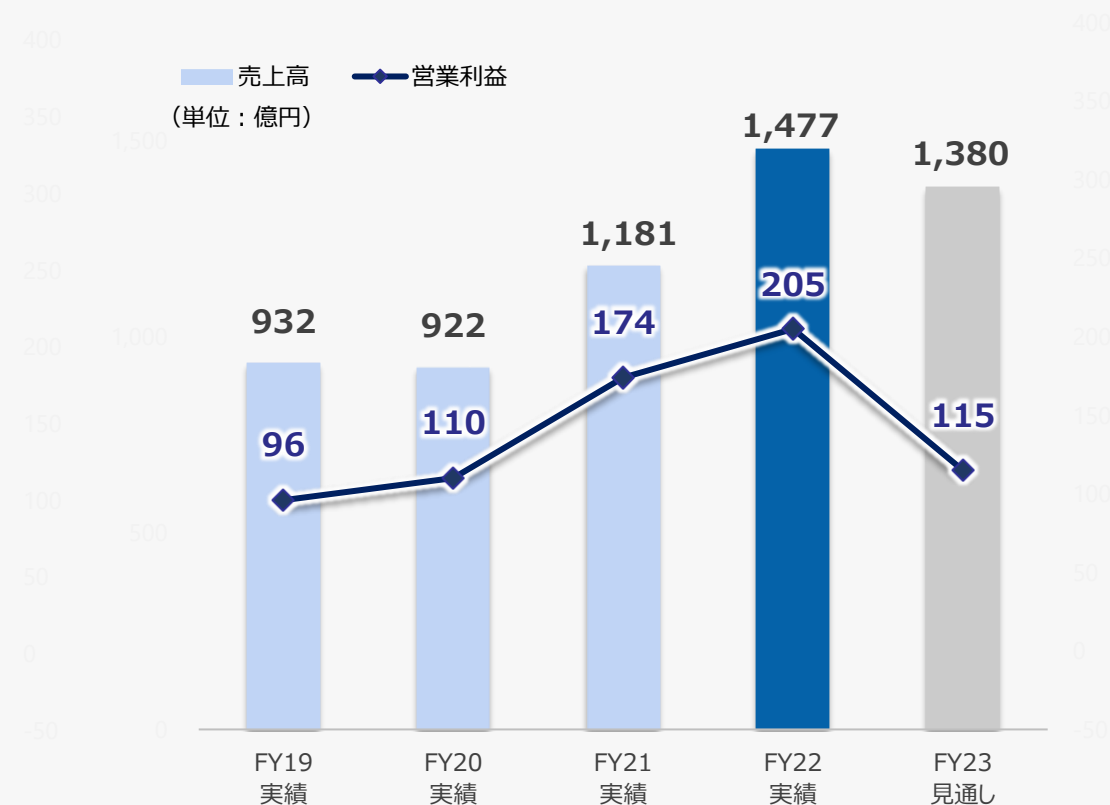


■ ポジショニング事業

四半期別

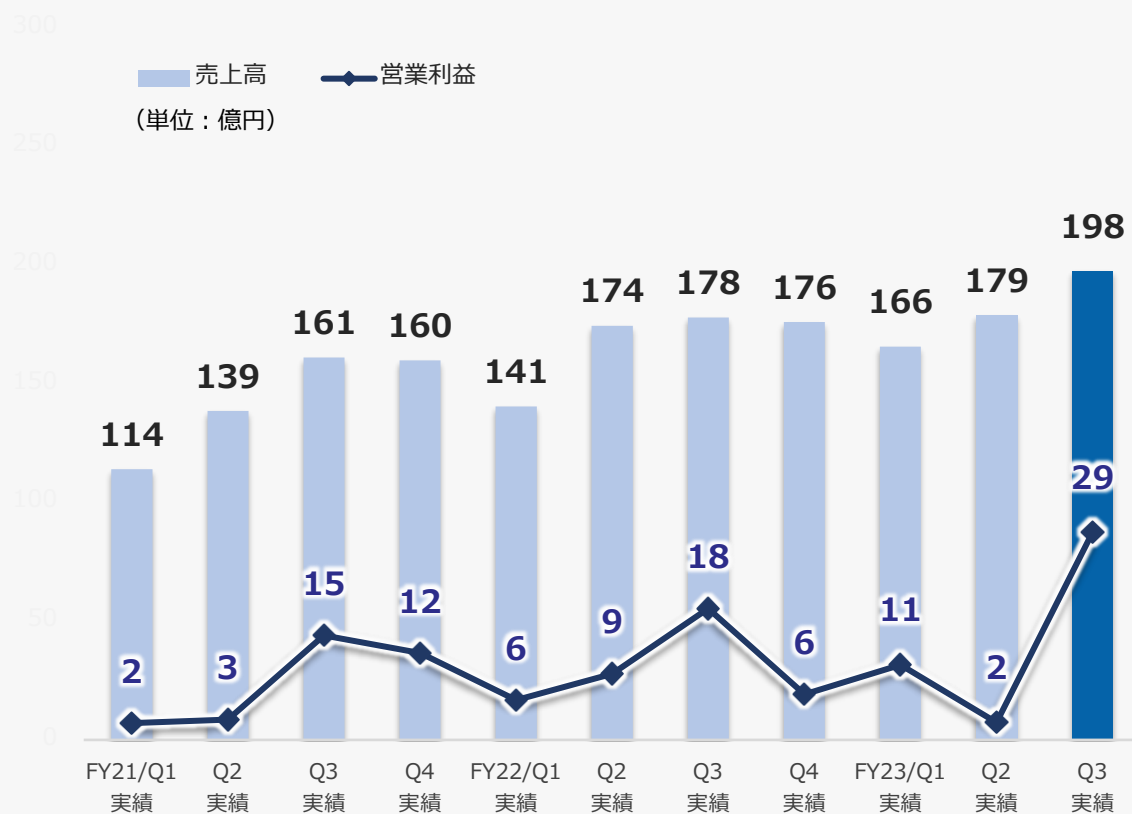


年度別

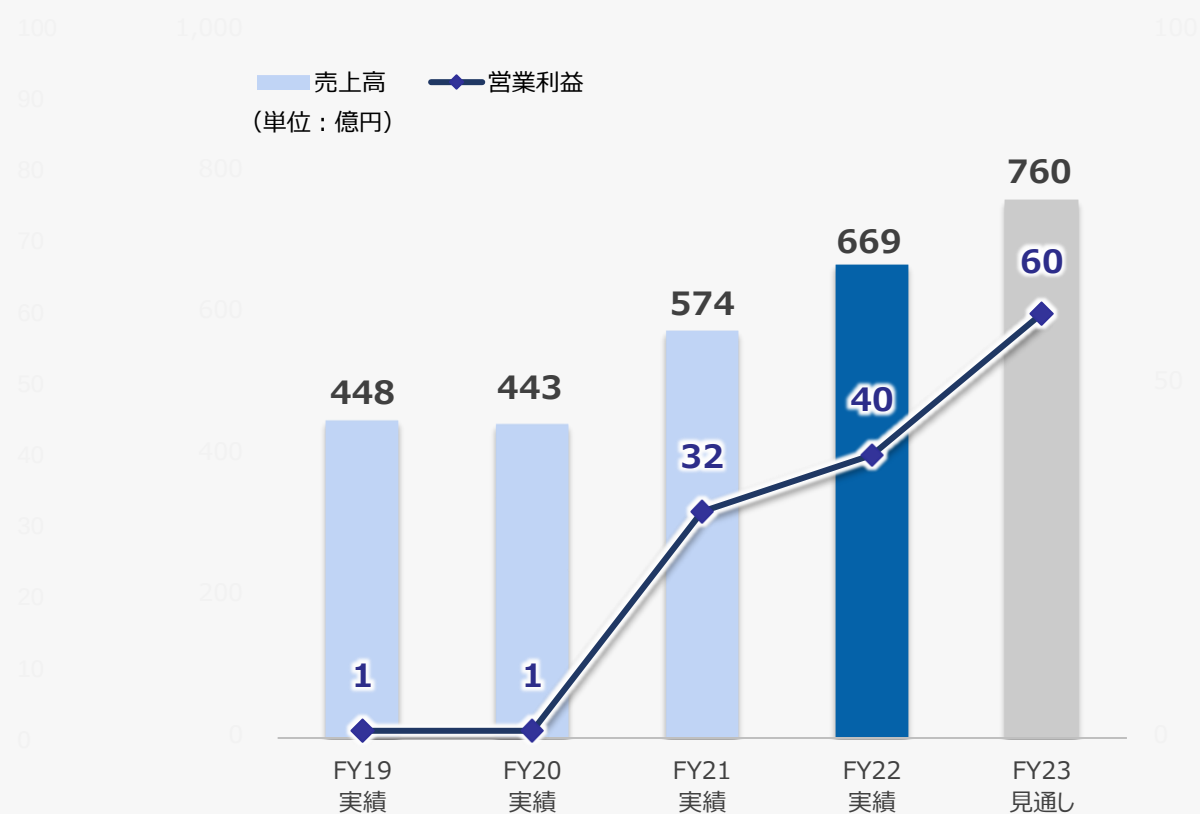


■ アイケア事業

四半期別



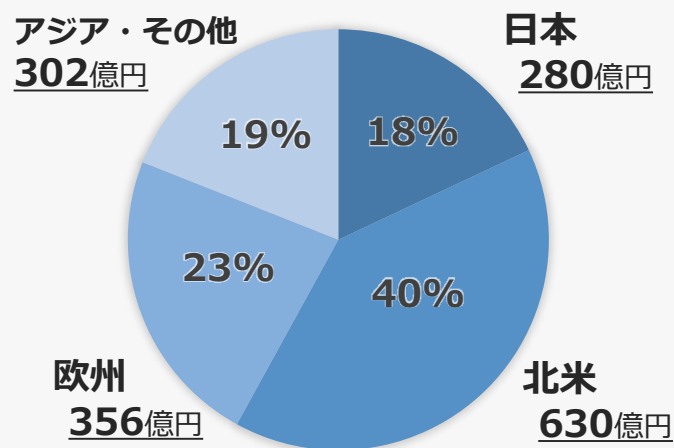
年度別



地域別売上高 【全社】

FY2022/Q3

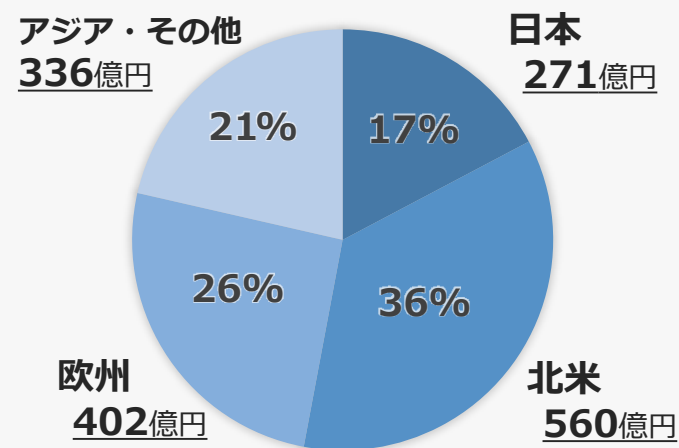
1,568億円



前年同期比
+0%

FY2023/Q3

1,569億円

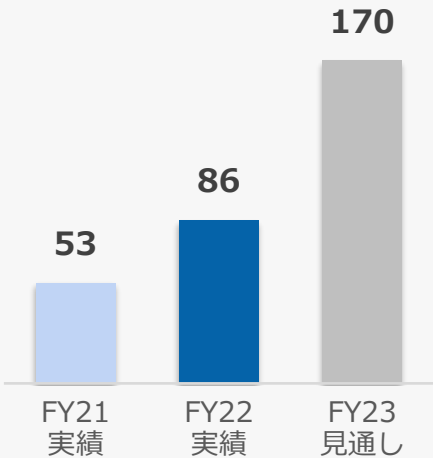


設備投資および研究開発費 / 為替感応度

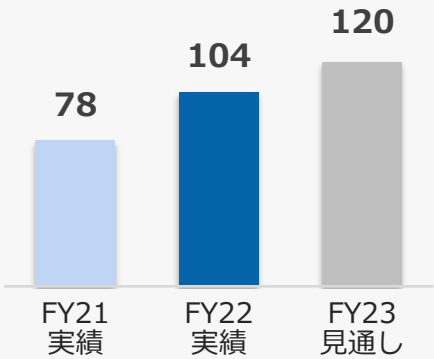


投資額・費用見通し

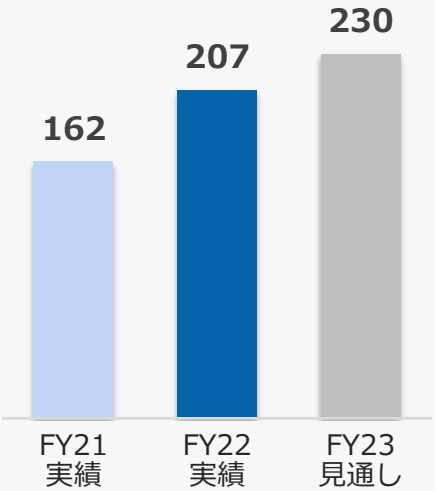
設備投資額
(単位：億円)



減価償却費
(単位：億円)



研究開発費
(単位：億円)



為替感応度（1円の変動による影響額）

	営業利益
USD	1.5～2億円
EUR	0.7～1億円



当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>